



特集

共生社会を実現するために ～一人ひとりができること～



スワリオン
車いすユーザー専用衣服「SWALION」を制作されている
マルチスイッチ代表 木村寛子さん (詳しくは 12 ページ)

- 06 誰にでも役割と出番のある地域をめぐって
地域共生社会フォーラム報告
- 07 米原市の福祉活動に貢献いただきました
社会福祉法人米原市社会福祉協議会
表彰・感謝
- 09 来年度の事業計画作成に向けて
評議員等との意見交換会報告

- 10 いたばい募金の使いみちについて紹介します
令和3年度赤い羽根共同募金・
歳末たすけあい募金報告
- 13 成年後見制度について知っていますか？
こんにちは、米原市権利擁護センターです
- 14 芸能・健康づくり等、いろいろな情報があります
ボランティア情報「まいボラ」

特集

共生社会を実現するために 一人ひとりができること

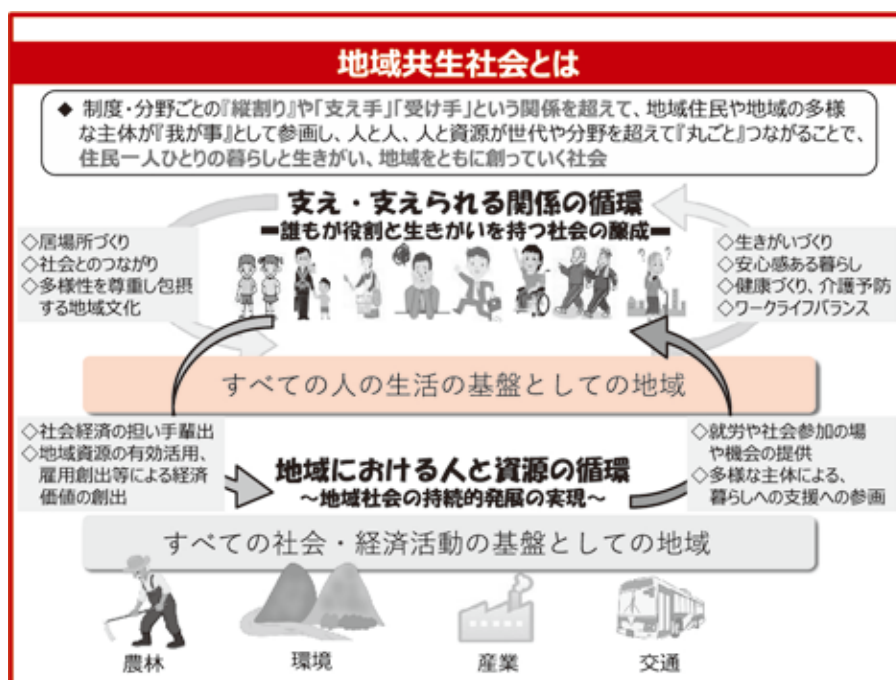
今年度の特集では、『世代を超えてつながること』『地域の方々と専門職がつながり支えること』『役割や出番をつくること』をテーマにお伝えしてきました。これらは『地域共生社会』を目指すための大切なポイントとなるものです。

今年度の最終号となる今回は、米原市地域共生社会フォーラムでの、全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田昌弘さんによる講演内容の一部を掲載し、皆さんと『共生社会を実現するために 一人ひとりができること』を見つめるヒントを学びたいと思います。

地域共生社会について

気が付けば、人々のつながりが弱くなったなあということを感じます。社会的孤立とか、無縁社会という言葉がありますが、人と人とのつながりが弱くなると、色々な問題が起こります。

最近聞く課題・問題は、人と人とのつながりが弱くなって、相談することができなくなるとか、誰かからちよつと声を掛けられるとか、一緒に考えると、そういうことが少なくなってきたことから生じているものもあるのではないのでしょうか。支えられることもあり、支えることもある。これからは、そんな地域共生社会をぜひ実現していきたいな、と思っています。



講師プロフィール

社会福祉法人全国社会福祉協議会、社会福祉法人栃木県社会福祉協議会、社会福祉法人東北福祉会「せんだんの杜」副社長（特別養護老人ホームなどの施設長を併任）を経て、2005年7月から現職。近年は日常の暮らしのなかにある住民同士の支え合いを「地域のお宝」とし、制度やサービスを上手に活用しつつお宝を生かす地域づくりを推進されている。



全国コミュニティライフサポートセンター

理事長
池田 昌弘 氏

介護保険制度ができるまでは、あまりサービスがありませんでした。その一方で地域のつながりは豊かでしたが、サービスが充実するにつれて、地域のつながりが薄れてきたように感じます。そして、一人暮らしの方が増え、もう家族での助け合いが、難しくなってきた状況です。地域が家族になっていく

ような、他人同士が助け合える関係がない限り、なかなか孤立の問題は解決していかないんじゃないかと感じます。

「もうそろそろ、施設に行ったらどうですか？」と、地域から切り離されたり、あるいは自宅に引きこもってしまつと、地域から孤立しがちになったりします。できれば、施設に入居しても在宅サービスを使つても、今まで通り地域とのつながりを維持することが大切です。こんな地域を目指すことで、まさに地域共生社会の実現に近づくのではないかなと思います。

制度サービスを利用するだけでは安心は得られません。制度サービスともつながり、これまであった関係も弱くならないように、今まで以上につながりを豊かにしていくようなことが求められていると思います。

自分は支え手だと思っていたが…

ゴミ出しでお互い支え合う関係に

ゴミ出しに困っているという方がいてね、社協職員が、お困りの方が住む地域の自治会長さんや民生委員さん、お知り合いをたずねて、有償サービスとしてやってくれる人が見つかりました。有償での利用がはじまったのですが、実際は、「自

分のゴミ出しついでにやってるから、お金なんていらぬ」と言われて、ボランティアで週二回取り組まれるようになりました。ゴミ出し日の前日に行つて、「明日八時までに家の前にゴミ出しといてね」って声かけに行くんですね。翌日、今度は八時前にお困りの方の家の前のゴミを持って、ゴミのステーションに置いて、帰りに「今ゴミ出してきたからね」って声をかけて帰るようになって、気がついたら週四日しゃべるようになったそうです。

ある時、お困りの方がゴミを家の前に出していったんだけど、八時を過ぎてもゴミが置いたままで、どうしたのかなと思って心配になったゴミ出しをお願いした人が、手伝ってくれている方ところに電話をしました。でも電話に出ないから気になつてその方のところに行つたら、寝込んでたんですね。支えてもらつてる人が、気がついたらその人を気にかける関わりになつていた。こういう、どちらかが支えるだけじゃなくて、お互いが支え合う、そんな関係になつていくことつて、とても大切だなつていう風に思います。



小さな集まりも大事なサロンのひとつ

群馬県太田市のとある地区では、お茶の間カフェが終わると、自宅に帰るのかなと思つたら参加者のお宅に集まつて二次会。その集まり先のお宅の家から帰るときに、今度は、道端に立ち止まつておしゃべりして三次会をされています。

公民館や自治会館のようなところでサロンをやつてると、うちの地区では二十人集まつてるとか、週一回やつてると、回数が多いことや人数が多いことが自慢になつていたりしますが、人数が多いと相性の良くない人もいたりして、本音でしゃべれなかつたりする。だから帰りに親しい仲間と二次会、三次会をしているようなこともあります。

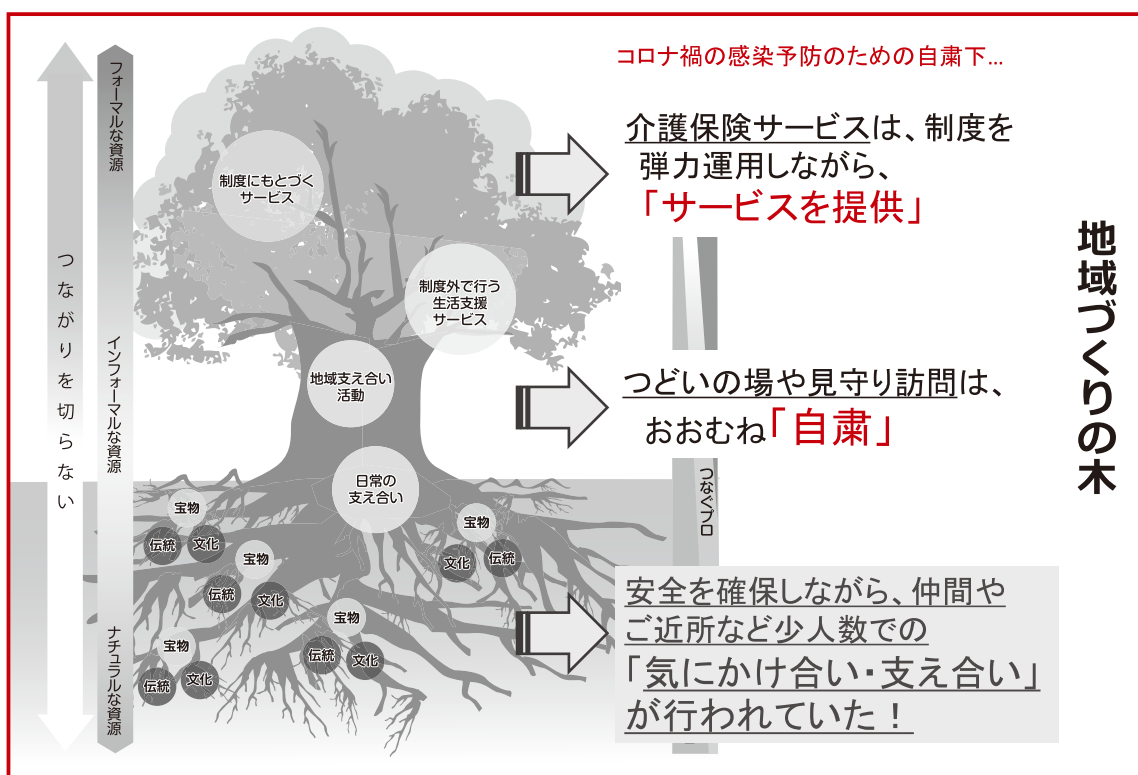
地域みんなで仲良くするために、サロンのようなものがとても大切なんだけれど、大勢集まつていけば集まつているほど、実はつながりの密度が低くなつてくるんじゃないかと思っています。二次会や三次会がつながりを生み、それを育んでいるのではないかと考えています。

町内会でやっているサロンとか老人会、公民館でやっている趣味活動とか、仲間とウォーキング、自宅で気心知れた友だちとお茶をする、スーパーでの立ち話、これ全部、実は通いの場・サロンなんです。

助けてと言える関係を増やす

今コロナ禍で、なかなか顔を合わせることで難しいけれど、人と人がつながることから気になる存在が生まれて、お互い気にかけて合うような仲間になって、ちよつと困ったことがあると、支えたり支えられたりの関係になっていくと思いますね。

支え合いって適度な迷惑をかけあうことなんですね。しかし、私たちは困っても「助けて」って言えないんです。困っていても大丈夫ですって断っちゃうんですね。自分を気にかけてくれる人が一人でもいてくれたら、「助けて」と言える気心知れた友だちがいてくれたら。気心知れた友だちには、何とか「助けて」って言えたりしますが、でもなかなかね、他の方には言えないものですね。私たちは、「助けてもらう」ことが苦手なのかなあ。でも、「助けて」と言える力をつけていくことは、今求められていることだと思いますね。



「地域づくりの木」にある

根っこの支え合い

枝葉のところが制度サービスですね。幹の部分が町内会とか老人会とかボランティアグループでの支え合い活動。土の中の根っこのところでは、プライベートなつながりのなかで、気かけ合い、支え合っています。

例えばおすそ分け。

おすそ分けって、明るい時間帯にみんなやらないって言うんですね。夕方少し薄暗くなって、近所の方でも気づかない位に薄暗くなってから、こっそり持っていくって、「あなたにだけあげるんだから他の人には黙っておいてね」って言って持っていく。

これは、見えにくい支え合いです。見えないうちの支え合いのことを、あまり私たちは意識してないんですけど、でも実は暮らしの中で最も頼りにしてる仲間ってここにいてるわけですね。このお友だちの関係を一人でも二人でも増やして、豊かな暮らしにしていこう。

さらには、町内会で支え合い活動を豊かにしていくって言うことが、地域で暮らしにくく中でも暮らしやすい地域を作っていくことになるんだろうなと思っています。

出番と役割の事例紹介

福島県奥会津の昭和村（高齢化率約五六％）の事例です。デイサービス（通所介護サービス）を休んでアルバイトに来ているお年寄りがいました。カスミソウの出荷の手伝いをしているんですね。二時間働いて二時間おしゃべりして帰るそうなんです。「時給いくらですか」ってお聞きしたら、時給八五〇円とのこと。この方が利用しているデイサービスセンターの介護職員さんの時給と同じぐらいの額です。

こんな話を宮城県の気仙沼でしたら、会場がざわついたんですね。なぜかっていうと、気仙沼は一月から四月までが、わかめの収穫期で、気仙沼のお年寄りはその時期、デイサービスを休んでわかめの収穫の手伝いに行っているからでした。そこで現地に行きました。お年寄りに「デイサービスに行かなくていいんですか」って聞いたらね、忙しくて行けないって言われたんです。全国で、そういう話をよく耳にしますね。

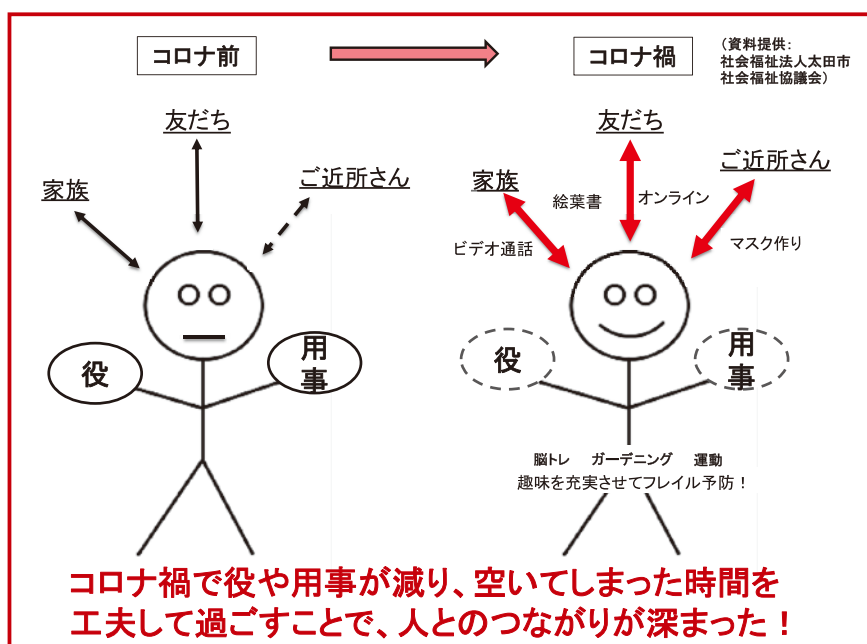
実はやることがあれば、行く場所があれば、デイサービスでなくてもいいっていう風に思いますね、こういう視点もとても大切です。そう考えるといろんな役割が地域にはたくさんあるのではないかと思います。

工夫次第でコロナ禍でもつながりを深めることは可能

コロナ禍の前とコロナ禍になってからでは、つながり方に変化があると思います。コロナ禍の前は、地域の役割や役回りがありました。コロナ禍になって地域の役や用事はなくなったけれど、ご近所さんとマスク作りをしたり、お友だちと絵手紙交換をしたり、離れて暮らす家族とビデオ通話をするようになったり。実はコロナ禍になって人とのつながりが深まったという人が結構いるんですね。コロナ禍になって、今まで以上にお友だちやご近所の方などが気になって、頻繁に連絡を取り合い、かえってつながりが強くなったという人たちもいます。このような状況だからこそ、一人ひとりがつながるためにできることがあるのではないのでしょうか。

〜終わりに〜

いかがでしたか。つながることやそつと行われている支え合い、役割や出番づくり、「助けて」と言い合える関係づくりの大切さなど、池田さんの講演の中には、地域共生社会を実現するために一人ひとりが実践できるヒントがたくさんがあったかと思えます。



米原市社会福祉協議会では、地域共生社会の実現に向けて、皆さんとともに取り組みを進めていきます。皆さんもできることから始めてみませんか。何か始めてみようという方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

お問合せ先… ☎ 0749-54-3100
米原市地域支え合いセンター
（社会福祉法人米原市社会福祉協議会）

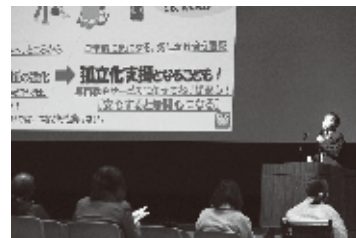
地域共生社会フォーラムを開催しました！ (第16回米原市社会福祉大会)

11月28日(日)、滋賀県立文化産業交流会館にて『誰にでも役割と出番のある地域をめざして』をテーマにフォーラムを開催し、284人の方にご参加いただきました。参加のしやすさを高めるためオンラインでの配信も実施しました。

全体会

『共生社会を実現するために～一人ひとりができること～』

講師に特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター理事長の池田昌弘氏をお招きして、人と人とのつながりから支え合いが生まれること、「支えたり、支えられたり」の関係や「適度な迷惑をかけ合う」仲から「お互い様」の地域が生まれることを学びました。



池田氏講演風景

第1分科会

『ひきこもりを理解する～ひきこもり経験者として伝えたいこと～』

講師に一般社団法人ひきこもりUX会議代表理事の林恭子氏をお招きし、林氏自身のひきこもっていた当時の思いや現在に至るまでの経験談をお話いただきました。また現在の活動を通し家族や支援者をお願いしたいことなどをご講演いただきました。



講師 林 恭子 氏

第2分科会

『デフリンピックと共生社会』

※デフリンピックはろう者のオリンピックです

講師に2017年サムスンデフリンピックバレーボール日本男子代表の信田光宣氏、特定非営利活動法人BreakThrough代表の中野智久氏をお招きし、デフリンピックでの経験を通して、共生社会の実現のためには、ろう者優勢でもなく、健聴者ベースの価値観でもなく、お互いに歩み寄ることが大事であることを学びました。



講師 信田光宣 氏(左) 中野智久 氏(右)

第3分科会

『いのちを守ること～大切な人の悩みに気づく、寄り添う～』

特定非営利活動法人ゲートキーパー支援センター理事長の竹内志津香氏を講師にお招きし、ゲートキーパーや自殺の要因について、現状を踏まえながらお話いただきました。

また分科会終盤では、自分の心と体の健康のために心の回復体操を行い、セルフケアの大切さについて体験を通して学ぶことができました。



講師 竹内志津香 氏

第4分科会

『個性や特性に合わせた関わり方～上手なほめ方・叱り方で大人も子どもも変身～』

株式会社アットスクール代表取締役 アットスクール高等学院学院長の鈴木正樹氏をお招きして、個性と特性や、自尊心を育み可能性を広げていくためには、上手なほめ方・叱り方が重要であることを、具体的な例を挙げてご講演いただきました。会場参加に加え、自宅からも参加しやすいオンライン配信も実施し、幅広い世代の方に参加いただきました。



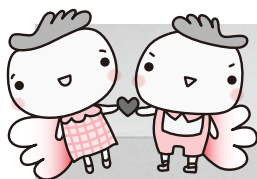
講師 鈴木正樹 氏



会場には市内のボランティアグループ、福祉事業所等の日々の活動を紹介するブースも設置しました。また、余剰食品を募集するブースを設置し、たくさんの方々から提供いただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。



令和3年度 社会福祉法人米原市社会福祉協議会 表彰状・感謝状授与式を行いました



表彰

米原市の福祉活動の発展向上に寄与し、その功績が顕著な個人や団体の方々です。

寺	村	政	和	様	吉	田	幸	三	様
藤	本	昭	子	様	大	楽	羊	子	様
浦	井	正	明	様	山	下	秀	一	様
樋	口	善	郎	様	近	江	シ	ニ	ア
北	方	自	治	様	伊	吹	ヶ	丘	自
朝	妻	治	会	様	近	江	さ	く	ら
									が
									丘
									自
									治
									会
									様

感謝

社会福祉活動に協力援助するため、善意銀行への高額な寄付や、米原市社会福祉協議会の特別会費における貢献顕著なの方々です。

三	扶	様	株	株	様
菱	桑		式	式	
ケ	工		会	会	
ミ	業		社	社	
カ	株		工	工	
ル	有		房	房	
株	限		様	様	
式	公				
会	一				
社	彦				
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					
限					
公					
司					
有					

～表彰自治会の活動紹介～

◎ 北方自治会

北方自治会では、平成二十七年に福祉委員会を立ち上げられ、地域の福祉活動についての協議・事業実施に取り組んでこられました。

「災害時の支援体制づくり」においては、平時からのつながりが災害時の互助力を高めるの考えのもと、平時からの見守り、声掛けを通じて、相談できる関係を構築してこられました。

また、高齢者の居場所づくり活動においては、平成十四年頃から毎月「のびのびサロン」を開催してこられました。運営においては、福祉協力員や民生委員児童委員、ボランティアだけでなく、高齢者も含めて、みんなで協力して開催していくことを大切にしておられます。



のびのびサロンの様子

◎ 伊吹ヶ丘自治会



創作活動の様子

伊吹ヶ丘自治会では、希薄になっていた住民同士のつながりづくりを目的として、平成二十三年にサロン活動をスタートされました。参加者は高齢者だけでなく、幅広い世代の参加のもと活動を展開されています。啓発や介護予防、おしゃべりの時間のほかに、ハンドマッサージなどのリラックスできる活動や、フラワーアレンジメントや絵手紙作りといった創作活動を取り入れるなど、多様な企画を行うことで、より多くの住民に参加いただきたいという思いのもと工夫を重ねておられます。

また、コロナ禍においては屋外でサロンを開催するなど、感染対策を行いながら、開催可能なスタイルでのサロンを継続されています。

◎ 朝妻自治会

朝妻自治会では、平成十三年から毎月サロンを開催され、居場所づくり活動に取り組んでこられました。平成三十年には、地域お茶の間創造事業へも取り組まれ、毎週水曜日に居場所を開催されるようになりました。コロナ禍で集まることが難しい状況では、居場所に来ておられた方、来ておられなかった方を含めて、個別訪問を実施されています。

また、災害時避難支援体制づくりにも取り組まれ、要支援者宅を訪問し、ヒヤリングを行いながら個別避難支援計画を作成されました。避難支援体制構築後の今年度には避難支援計画に基づき避難訓練の実施や、支援体制の更新などに取り組まれ、今後も安心して暮らせる地域づくりの推進が期待されます。



居場所活動での体操の様子

◎ 近江さくらが丘自治会



避難訓練の様子

近江さくらが丘自治会では、平成二十七年より支え合い支援事業を立ち上げられました。本事業では、要支援者宅を訪問して困りごとの聞き取りを行い、平時の見守りや支援体制などを検討され、把握した情報を反映した福祉マップも整備しながら、平時からの見守りや除雪支援、災害時避難支援体制を構築されました。

また、体制をつくるだけでなく、災害時を想定して、避難行動要支援者宅を訪問して声掛けを行う避難訓練にも取り組まれています。

このように、配慮が必要な方に対しての支援体制づくりを長年にわたり継続し、誰もが安全に安心して暮らせる地域づくりに取り組まれています。

ご紹介した団体・自治会では、継続的に活動する中で、新たな活動が生まれています。一步一步の積み重ねが大切な福祉活動。地域共生社会の実現に向け、本会も皆さんとともに歩みを進めていきます。

令和4年度の事業計画に向けて 意見交換会を開催しました

令和4年度の事業計画を策定するにあたり、地域の課題解決に向けた事業の充実・改善を行うことを目的に、地域の様々な福祉活動者である本会評議員様と市内の社会福祉法人の皆様にお集まりいただき意見交換会を開催しました。日頃、事業を担当する職員からの現状や課題の報告を受け、米原市のつながりと支え合いのある福祉のまちづくりを進めるための、貴重なご意見をいただきました。意見の一部をご紹介します。

テーマ1

社協がお願いする「社協会費」「共同募金・歳末たすけあい募金」「日赤活動資金」の取扱いに伴う自治会負担とその軽減について

【意見】

- ・募金や寄付の明確な使い道がわからず、活かされていないと感じる。
- ・助成先の情報を掲示するなど、活用先の“見える化”が必要ではないか。
- ・若い年代との意識の違いを感じる。
- ・自治会に入っていない世帯や新興住宅地への働きかけを積極的にしてはどうか。
- ・各自治会の実態を把握し、活動したくてもできない所へ支援をするべきではないか。



テーマ1の会場の様子

テーマ2

みんなに「出番」がある地域 ～出会い・つながりの場づくり～



テーマ2の会場の様子

【意見】

- ・畑作業や施設の掃除などの環境整備をしてけると助かる。
- ・ひょうたん作りに高齢者や障がい者が関わり、加工販売する仕組みができないか。
- ・高齢者と子どもの放課後交流の場を設けるなど、高齢者が役割をもって交流できる場をつくれないうか。
- ・伊吹中のジュニア民生委員のような活動を広め、福祉に触れる機会をつくるとよいのではないか。
- ・色々な体験ができて、人が集まれる場所をつくってはどうか。

テーマ3

社協に取り組んで欲しいこと ～皆さんの感じる課題から～

【意見】

- ・社協事業の内容について認知が不十分ではないか。
- ・田んぼや墓地の面倒を見る人がいない地域（人）に何かできないか。
- ・地域で事業を考えても後継者がおらず、単年で終わってしまうため、後継者をつくる支援をできないか。
- ・補助金を活用するために、市と協力して事業を進めてはどうか。
- ・子どもが育つ環境づくりに様々な立場で関わり、連携協力できるとよいのではないか。



テーマ3の会場の様子

等、様々なご意見をいただきました。

米原市社会福祉協議会ではいただいた意見をもとに、地域の様々な困りごとを、家族や友人、近隣住民、事業所や行政などが役割を分担し、支え合いながら、誰もが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるまちづくりに向けて事業をすすめていきます。



令和3年度共同募金運動報告

みなさまのあたたかいご支援、ご協力ありがとうございました

共同募金総額

10,126,320 円

赤い羽根共同募金

6,440,401 円

歳末たすけあい募金

3,685,919 円

- 戸別募金 5,038,760円
- 法人募金 556,000円
- 街頭募金 60,577円
- 学校募金 302,624円
- 職域募金 261,888円
- 個人募金 150,487円
- 寄附付き自販機 61,586円
- その他 8,479円

<使いみち>

この募金は令和4年度に実施される、さまざまな福祉活動やボランティア活動を支えるために役立てさせていただきます。

- 福祉活動団体・ボランティアグループ等の活動支援
- 広報誌（社協まいばらてとて）の発行
- 子育て支援等 他

<使いみち>

この募金は支援を必要とされる方々への配分や食料支援および歳末時期に行われる当事者団体の事業等へ配分させていただきました。

- 個別配分 3,072,000円
- 当事者団体配分 80,000円
- 居場所継続補助 36,500円
- 子ども食堂または学習支援開催補助 32,000円
- 歳末食料支援事業 415,341円
- 次年度事業へ繰越 50,078円



法人募金として下記の企業・商店よりご協力をいただきました

(順不同 敬称略)

有限会社赤堀新聞舗
株式会社旭ハウジング
株式会社いぶき
有限会社伊吹金属
伊吹建設工業株式会社
有限会社伊吹・旬彩
岩崎産業株式会社
有限会社大野造園
株式会社尾賀亀
ENEOS伊吹サービスステーション
カーメンテナンスオオツカ
有限会社粕淵設備
有限会社北川モータース
木村工務店
協栄自動車
株式会社清原織物
草野モータース
株式会社ケアサポートみしま池
有限会社小林屋
小林養鰯場
有限会社坂田園芸センター
有限会社澤溶工
三黄通運株式会社
三軌工業株式会社
滋賀鉦産株式会社
有限会社白谷木材
社会福祉法人大樹会
・デイサービスセンターやすらぎハウス
・やすらぎハウス居宅介護支援事業所
有限会社高木製作所
竹林電機商会有限会社
立木与三郎商店

谷孫料理店
地域包括ケアセンターいぶき
塚田医院
株式会社塚本組
有限会社坪井農具製作所
株式会社電化のミヤザキ
有限会社東光
東湖産業株式会社
株式会社童夢
中西石油株式会社
長浜信用金庫米原支店
長浜セレモニー株式会社
長浜葬祭有限会社
西川自動車株式会社
にのみや歯科医院
日本サミコン株式会社
日本ソフト開発株式会社
長谷川事務所
有限会社羽羽石油
有限会社伴自動車
株式会社ヒサキペンタップ
社会福祉法人ひだまり
びわこ産業株式会社
フジモト
扶桑工業株式会社
古澤税理士事務所
堀川石材店
有限会社マコトヤ
丸真商店
株式会社丸善おくむら
株式会社三原モータース
三宅司法書士事務所

山形石油株式会社
有限会社山崎オートサービス
有限会社山田工作所
山根自動車
山根歯科医院
株式会社ヤンマービジネスサービス
株式会社横田製作所
ライセル株式会社
利高工業株式会社
力興木材工業株式会社
緑土開発株式会社
レーク伊吹農業協同組合
和食すし処番野
米原市山東工場部会
・アコース株式会社
・株式会社アルナ矢野特車
・内堀鉦業株式会社
・近江鉦業株式会社
・柏原工業株式会社
・株式会社KOHOKU
・三友エレクトリック株式会社
・株式会社滋賀銀行山東支店
・日本ガスケッ株式会社滋賀工場
・ハmanaカ繊維株式会社滋賀工場
・三菱ケミカル株式会社滋賀事業所
・名鉄運輸株式会社米原事業所
・株式会社ヤママログループ
・ヤンマーパワーテクノロジー
株式会社伊吹工場
・レーク伊吹農業協同組合山東支店
匿名 1 件



募金活動

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金

今年も、各自治会を通じ、たくさんの市民の方々にご協力いただきました。

そのほか、各種団体の活動をはじめ、市内の全小・中学校、高等学校で生徒会活動やボランティア活動として募金に取り組み、私たちが暮らす米原市を良くしたいという一人ひとりの願いとあたたかい気持ちをお寄せいただきました。



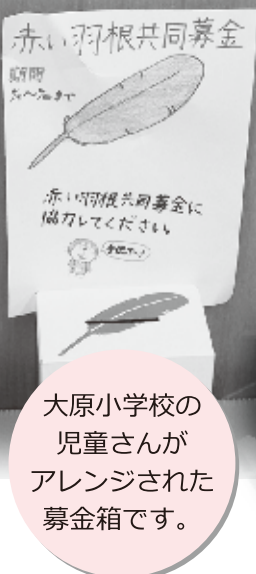
山東小学校



米原地区更生保護女性会



大東中学校



大原小学校の
児童さんが
アレンジされた
募金箱です。



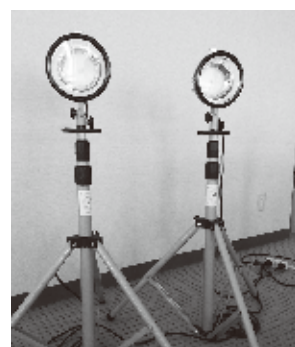
伊吹高等学校

広域助成

滋賀県共同募金会 広域助成 「滋賀の町を良くするしくみ」より 助成を受け投光器2台を整備しました。

今回助成を受け購入した投光器は、夜間停電時を想定し、昨年購入した発電機と併せて使用できるものです。

災害時の災害ボランティアセンターや避難所の運営に活用します。
皆さまの温かいご支援ありがとうございました。



投光器

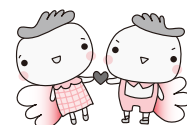
令和3年度 社協会費のご協力ありがとうございました

(令和4年1月13日現在)

- 普通会費（自治会・個人）・・・8,773,300円
- 特別会費（企業・商店等）・・・1,289,000円

※「てとて」11月号にてご報告後、下記企業よりご協力いただきました。

- ・株式会社尾賀亀 ENEOS 伊吹サービスステーション様
- ・株式会社ヒサキペンタップ様



※感染症拡大により、下記の各種相談が中止となる場合があります。

相 談

・ 常時相談

社協職員が相談員として対応し、各関係機関と連絡連携し継続的に相談支援を行います。

毎週月～土曜日、午前8時30分から午後5時30分まで。

※山東地域福祉活動センターは土曜日休館

〈問合せ〉米原市社会福祉協議会本部および社協各センター

・ 心配ごとと総合相談

暮らしの困りごとや悩みごとの相談を受け付けます。

相談は無料。時間はいずれも10時～12時まで（相談受付は11時まで）で、相談時間は1時間程度。

相談員は、行政相談委員・人権擁護委員・民生委員児童委員（身体障がい者相談員・知的障がい者相談員が入られる日もあります。）

相談日	会 場	相談日	会 場
2月 8日(火)	米原市役所（米原1016）	3月 8日(火)	ルッチプラザ（長岡1050-1）
2月22日(水)	愛らんど（春照56）	3月22日(火)	学びあいステーション（顔戸1513） （旧近江公民館）

〈問合せ〉米原市 福祉政策課 ☎：53-5120

・ 法律相談

法律に関する相談ごとで、解決の窓口となるよう弁護士が初回の相談に応じます。事前にお申込みください。

相談日	会 場	相談日	会 場
2月10日(木)	やすらぎハウス（顔戸21-2）	3月10日(木)	ルッチプラザ（長岡1050-1）

1回30分以内 料金 1,000円。時間は10時～12時までの間。

〈問合せ・申込み〉米原市 福祉政策課 ☎：53-5120

スワリオン 車いすユーザー専用衣服「SWALION」の モデル・モニターを募集します。

誰もが持っているスイッチをONにして、キラキラした生活を送れる地域にしたい！そんな思いで「マルチ（多様な）スイッチ」という名前で活動しています。座ったままで着脱可能な衣服の開発に取り組み、湖北みみの里の皆さんのご協力でSWALION「スワリオン（座ったままでオン）」というブランドが誕生しました。SWALIONをより素敵な製品にしていくために、モニター、モデルとしてご協力いただける車椅子ユーザーの方を募集しています。

募 集 期 間 2022年1月10日～2022年3月31日

お問い合わせ ☎：multh@zb.ztv.ne.jp

☎ 080-9306-7227 マルチスイッチ 木村

車椅子を
寄贈いただきました。
大切に活用させていただ
きます。

滋賀日産自動車株式会社 様



善意銀行だより

令和3年10月13日～令和4年1月12日
（敬称略）

〔金銭預託〕

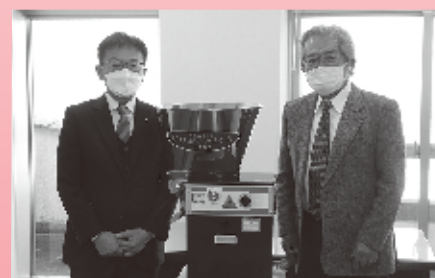
朝湖会グラウンドゴルフクラブ 3,000円
中川善雄 100,000円
匿名 1,000円
三菱ケミカル労働組合関西支部山東分会
10,000円

〔物品預託〕

匿名 ドライシャンプー
米原の大地の恵み 渋柿（吊るし柿用）
匿名
入浴剤、柔軟剤、リンス、布マスク
北村喜代隆 玄米
山本利昭 玄米
横田
ベビースケール、保冷ポット、オマル
伊藤信義 もち米
レーク伊吹農業協同組合女性部
米、もち米
飯ファーム かぼちゃ
匿名 下着類
新庄サロン 大根、白菜他
長浜セレモニー株式会社 精米機



レーク伊吹農業協同組合女性部 様



長浜セレモニー株式会社 様



三菱ケミカル労働組合関西支部山東分会 様

※その他、季節の野菜や果物をいただき、生活困窮者支援物資提供事業、子ども食堂、市内福祉事業所等へ広く配布を行い、活用しています。

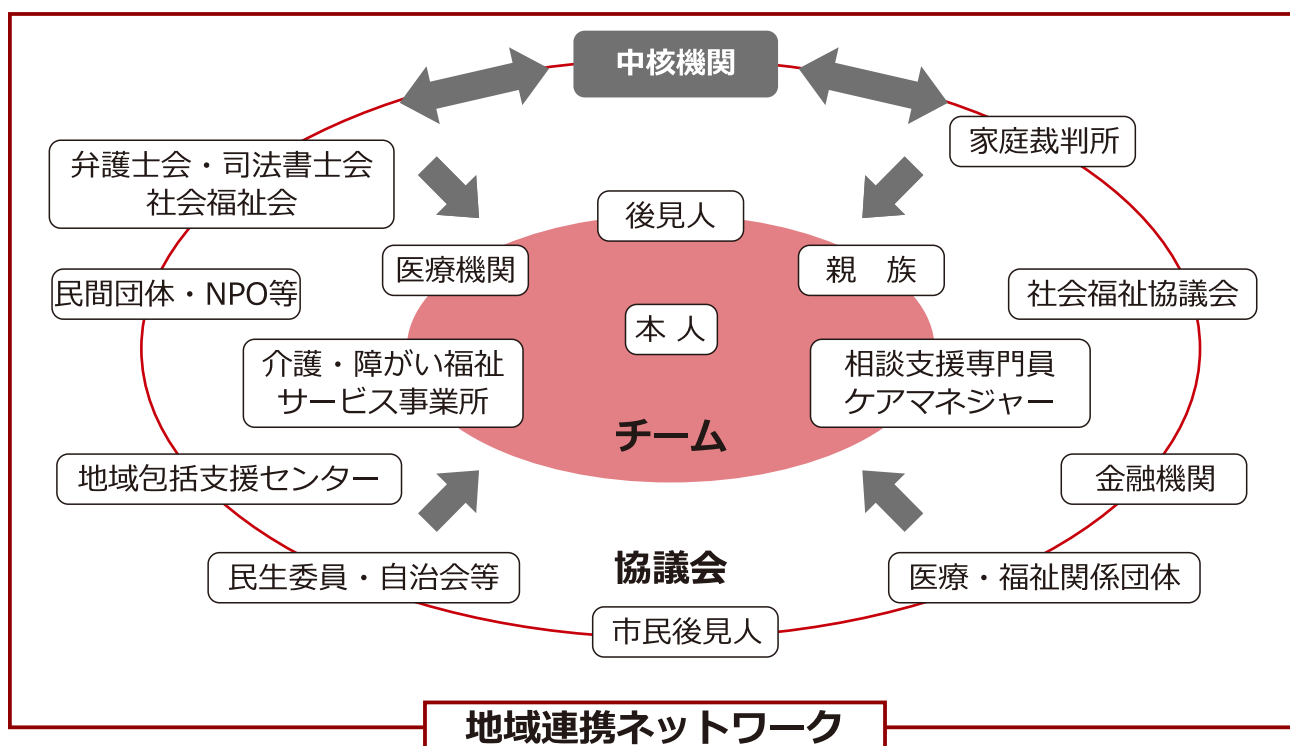
こんにちは、米原市権利擁護センターです

令和3年3月に「米原市成年後見制度利用促進計画」が策定されました。

この計画では、「地域連携ネットワーク」の強化を柱に、必要な人に成年後見制度が届き、また後見人等の支援者の支援体制が充実し、誰もがその人らしい暮らしの継続がめざされています。

この計画で何が充実するの？

- ・専門職の連携が強化され、**早期発見・早期支援**につながります。
- ・**本人の思い・暮らしに寄り添った支援**が充実します。
- ・身近な地域で**相談できる体制**が充実します。
- ・後見人が選任される際に、本人を取り巻く状況や特性などの**情報を家庭裁判所に的確に伝える体制**が充実します。
- ・研修会や広報活動を通じて**成年後見制度の理解が深まる取り組み**が充実します。



チーム 後見人、親族、医療、福祉、地域の関係者等、日常的に本人を見守り、本人の意思や状況を継続的に把握し、必要な対応を行います。

協議会 福祉・司法の専門職団体や関係機関がチームに対し必要な支援を行えるような体制づくりを進めます。

中核機関 地域連携ネットワークのコーディネートを担い、協議会の事務局を担当します。

目標実現に向けて、施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、米原市介護保険運営協議会および米原市障がい者計画等審議会、米原市権利擁護センター運営委員会において進捗状況が評価されます。その結果に基づき、必要な見直しが行われます。

※この計画の詳細は、米原市ホームページ「いきいき高齢者プラン米原」をご覧ください。

まいボラ

ちまたで
話題の

ホットなボランティアさん 年度末スペシャル☆

ほのぼのクラブ

数年前、市内保育施設の園児たちに、手作りの人形をプレゼントしたほのぼのクラブさん。子どもたちがたくさん遊んでくれて人形が少しくたびれてきたので、今年度、新たに70体制作いただきました。手作りのため、表情も衣装も違う世界に一つだけの人形です♪

ほのぼのクラブさんから直接人形をプレゼントしてもらった子どもたち。キラキラした目で「大事にします!!」と大きな声で受け取ってくれました。



先生からは「いただいた人形を布団に寝かせ、自分たちが家族にしているように、トントンして寝かしつけている姿が何とも微笑ましいのです。」とのこと。

メンバーさんも「子どもたちの喜ぶ表情を見ることができ、私たちも嬉しかったです。」とにっこり。

これからも、地域のボランティアさんと子どもたちの交流が未永く続いて行くと嬉しいですね♡ほのぼのクラブさんありがとうございました。



のぎくグループ × 愛の手ボランティア

伊吹地域にお住いの一人暮らし高齢者宅へ訪問活動をされている愛の手ボランティアさん。生活に役立つ情報をお届けすると共に、顔見知りの間柄だからこそ話せる困りごとなどを聞いてくださっています。

「訪問をする時に手作りの状差しをお届けできると良いな。」との愛の手ボランティアさんのお話を受け、ミシンでの縫製作業がお得意な、のぎくグループさんに相談をしてみました。

「手紙を入れるウォールポケットね。少し時間をもらえたら作るよ。」と、2ヶ月程で70枚のウォールポケットを作ってくださいました。



完成品は、のぎくグループさんから愛の手ボランティア代表の吉川さんにお渡しいただき、「ありがとうございます。手作りのプレゼントは会話のきっかけにもなるので嬉しいです。」と大切に持ち帰られました。

グループを超えた活動を通じて、ボランティアさん同士のつながりが広がった今回の活動。今後、更につながりを広げることで活動の発展が期待されます!!



傾聴ボランティア「よろこび愛」

誰かに話を聞いてもらって心がスッと軽くなったことはありませんか？

傾聴ボランティアよろこび愛さんは、市内の福祉施設や高齢者宅等へ出向き、話を聴き、ともに心安らぐ時間を過ごされています。



今年度も傾聴ボランティア養成講座を実施し、受講者のうち11名の方が、今後の活動を希望され、新たなメンバーとしてよろこび愛に加わってくださいました!! 新規メンバーを迎え、益々賑やかになったよろこび愛さん。今後も傾聴活動を通じて米原市に元気を届けてくださることを期待します。

「思い出話をしたい。」
「誰かに話を聴いてもらいたい!!」という方は、米原

市社会福祉協議会ボランティアセンターまでご連絡ください。よろこび愛さんにおつなぎします。

訪問は月1回、1時間程度です。よろこび愛さんとともに初回訪問し、その後の訪問についてご希望を伺いながら日程等の調整をしていきます。



令和4年度 ボランティア活動保険のお知らせ

ボランティア活動保険とは・・・

ボランティア活動中におこるさまざまな事故による、ボランティア自身のケガの補償と賠償責任補償をする保険です。

○保険料（1名・年間）

基本プラン・・・・・・・・・・350円

天災・地震補償プラン・・・500円

★新設★

特定感染症重点プラン・・・550円

従来のプランでは、補償開始日から10日以内に発病した特定感染症に対しては補償の対象になりませんでした。特定感染症重点プランでは補償開始日から補償の対象となります。

※地震・津波・噴火に起因する死傷については、基本プランは補償対象外、天災地震補償プランは補償対象となります。

○補償期間

令和4年4月1日午前0時から令和5年3月31日午後12時まで

※途中加入の場合は加入手続きの完了した日の翌日午前0時から補償開始となります。

複数のボランティアグループに所属している場合、どこか1か所のグループで加入手続きをすれば他のグループにおける活動についても補償されます。

加入申し込み・お問い合わせは、各地域の社協窓口までお願いいたします。

こちらのページの記事に関するお問い合わせは…

米原市ボランティアセンター

住所：米原市三吉 570 番地

☎：0749-54-3100 FAX：0749-54-3115

✉：sasaeai@maibara-shakyo.or.jp



おおきくな〜れ♪

各地でお話し会を開催されている『おはなしボランティア』さんからオススメの1冊を紹介していただきます!!
長年、本と向き合ってきたボランティアさんがオススメする絵本は、いったいどんな物語でしょうか♪

ようこそ♪お話しの世界へ

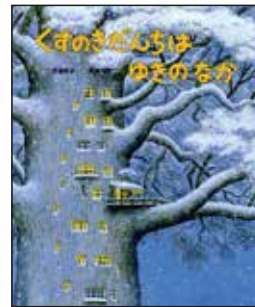
親子で一緒にさわって遊べる参加型絵本



「さわってごらん!」
「ふしぎなふしぎなまほうの木」
作・クリスティーマシンソン／訳・大友剛
はじめ何もなかった木をさわって
いくと、あらふしぎ!
一枚のきれいな葉っぱが芽を出し、
またさわるとうどんどん...
次に何があるのだろうかとうわくわく
感がいっぱい!
色鮮やかな世界にひきこまれます。

ボランティアさんの
オススメポイント

大豆まきする前に読んであげてほしい絵本



「くすのきだんちは ゆきのなか」
作・武鹿悦子／絵・末崎茂樹
くすのきだんちには、いろいろな
動物達が住んでいます。困った時
は、みんな協力して助けあつてす
ごしています。心があたたくくな
る絵本です。

ボランティアさんの
オススメポイント

おはなしボランティアグループ
『夢のつばさ』オススメ絵本



おはなしボランティア『ぽけっと』
オススメ絵本



子育て中のみなさんに読んでほしいと
ボランティアさんが作った絵本

文章のないページは、読む
方やお子さんが自由にお話
しを作ってください。



※山東・近江図書館で
借りることができます。

「くろたん」
作・絵 かとりみわ
お子さんのこと「大好きだよ!」
という想いを、いつも持ってい
れば、それぞれ子育てに間違いはな
いと思います。最後の「くろたん
のこもりうた」のところを、お子
さんの名前にかえて歌ってあげて
ください。

ボランティアさんの
オススメポイント

絵本に興味を示さなかった孫が
進んで読んだ本



「はたらくるま とどくかな」
作・絵 三浦太郎
絵本にさほど興味を示さなかった
孫が、この絵本を見ると、自分か
ら読んでくれるのです。
興味・生活など、その子を見つ
り見て、成長にあった本を与えて
いけるといいですね。

ボランティアさんの
オススメポイント

『おはなしボランティアと芸術の会』
オススメ絵本



『夢たんぽぽ』オススメ絵本



他にもオススメ絵本を教えてください。お問い合わせは、米原市ボランティアセンターまでご連絡ください。

各種事業に関するお問合せ・お申し込み・ご意見は、下記の法人本部・各センターまで

法人本部

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内
☎ 54-3110 FAX 54-3115 ✉ maibara@maibara-shakyo.or.jp

山東地域福祉活動センター

米原市長岡1206 市役所山東支所内
☎ 55-3933 FAX 55-3933 ✉ m-shakyo-mishima@zd.ztv.ne.jp

伊吹地域福祉活動センター

米原市春照56番地 伊吹地域福祉センター愛らんど内
☎ 58-1770 FAX 58-2231 ✉ m-shakyo-s.ishi@zb.ztv.ne.jp

米原地域福祉活動センター

米原市三吉570番地 米原地域福祉センター ゆめホール内
☎ 54-3100 FAX 54-3115 ✉ maibara@maibara-shakyo.or.jp

近江地域福祉活動センター

米原市顔戸21番地2 近江地域福祉センター やすらぎハウス内
☎ 52-4393 FAX 52-8051 ✉ m-shakyo-oshi@iris.eonet.ne.jp

文字が読みにくい等でお困りの方に、毎号「音の広
報」として「広報とて」をお届けします。ご利用希
望の方はお気軽にお問い合わせください。
(「音の広報」は米原市内の音訳ボランティアの方が読
み上げ・録音・編集されたものです。) 🎵🎵🎵🎵



てんてんのイラストは、地域のボランティ
アさんに描いていただいたイラストです。

この広報は一部赤い羽根共同募金の
配分金で発行しています。

